

平成18年9月27日

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 国土交通大臣          | 冬柴鉄三 様 |
| 東京都知事           | 石原慎太郎様 |
| 神奈川県知事          | 松沢成文 様 |
| 横浜市長            | 中田宏 様  |
| 川崎市長            | 阿部孝夫 様 |
| 独立行政法人都市再生機構理事長 | 小野邦久 様 |

NPO法人神奈川県自然保護協会  
理事長 新堀豊彦

## 多摩川河口干潟の保全に関する要望書

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃からの自然保護行政への積極的な推進について感謝申し上げます。

さて、多摩川を隔てる羽田空港と川崎市を結ぶ、新道路の建設（「神奈川口構想」）が具体化されることを聞き及んでおります。神奈川口構想の具体化に際しましては、何分にも多摩川河口干潟の保全の十全の環境保全をお願い致したく、ここに貴職宛、下記のとおり要望書を提出します。

### 要望

1. 神奈川口構想において、橋梁案の道路建設は反対します。
2. 干潟生態系に影響がある地上構造物は建設しないで下さい。
3. 神奈川口の都市計画の実施にあたり、コアジサシ等の繁殖地と観察スペースを確保して下さい。

多摩川河口干潟は環境省の「日本重要湿地 500」、国土交通省の「生態系保持空間」、また国際的な鳥類保護組織である BirdLife International が指定する「IBA 基準生息地」にもなっています。干潟生態系は、水質の浄化機能などの重要な機能とプランクトンから始まり、ゴカイ類・貝類・藻類・魚類から渡り鳥までの多様な生物空間を形作っています。橋梁案を採用しますと、橋により日照が妨げられ植物プランクトンの生産が低下する事が分かっています。その植物プランクトンの絶対量の低下に伴い、干潟生態系の破壊が起こる可能性が非常に高いのは、吉野川河口や沖縄漫湖の例でも分かっています。東京湾と神奈川県に残された重要な生物多様性空間を保全して頂きたいと思えます。

また、当該開発予定地域は 2006 年において約 800 羽のコアジサシ（絶滅危惧種Ⅱ類）の集団繁殖地になりました。今後も営巣環境を維持出来る空間と、住民がその生態を観察出来る施設を、国と地方自治体で建設する事を求めます。

この件に対する連絡先

神奈川県自然保護協会  
理事 金田平

246-0037

神奈川県横浜市瀬谷区橋戸 3-36-6

電話番号 045-301-4408